

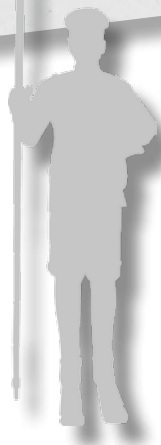
体協

第92号

平成24年4月15日

いひやま

発行：特定非営利活動法人 飯山市体育協会 / 〒389-2251 飯山市大字旭 4722 飯山市民体育館内 印刷：(有) 足立印刷所



飯山スキー100周年記念 2012 市民スキーフェスティバル (3月20日祝 長峰クロスカントリーコース)

飯山スキー 100周年によせて

飯山市体育協会会長

清水 侃

飯山スキー100年誌が1月28日に発刊されました。飯山市のスキーの歴史が写真と共に掲載されており昔懐かしさと子供のころに遊んだスキーの楽しさを思い出させてくれました。

選手も数多く登場し、素晴らしい成績を残してきております。

一時期のスキーブームは去りましたが、スノーボード、カービングスキーなど新しいスポーツのアイテムが登場し、冬のスポーツに変化を与えてくれます。スキーを取り巻く状況は依然として厳しく、地域全体で活性化の取組が必要となっています。

100年の節目は、これからのスキーのあり方について考えるきっかけとすることが大切です。

スキーの歴史は大会の歴史でもあります。飯山市では特にジャンプ大会や地域単位でのクロスカントリースキー大会、またアルペン大会など数多く開催され、スキー競技力の向上に貢献してきました。その中でインターハイでの輝かしい成績やオリンピックに出場す

「スキー」の環境は大きく変わっても「スキー」を愛する心はこれからも変わらないものだと思います。

飯山スキー マラソン大会

スキークラブ

山室 忠

2月26日に飯山市長峰スポーツ公園にて飯山スキーマラソン大会が開催されました。長野県、そして飯山市にスキーが伝わってちょうど100年という節目の年です。100年を記念してのこの大会は、数年前まで飯山市で開催されていたビルケバイネル大会を彷彿とさせる、荷物を背負って滑るといいうスタイルでした。

当日は雪が降り、時には吹雪のような厳しい条件の中22.5kmのロングコース。15kmのミドルコース。7.5kmのビギナーコース。そして4.5kmの歩くスキーコースで行われました。荷物はリュックサックに1.5ℓのペットボトルを入れ背負います。タイム計測にはチップを使用し、選手の両足首にバンドを巻いてのスタートとなりました。また、スタート直前には地元のみゆき野吹奏楽団による演奏もあり、華やかさとともに一斉スタートの迫力ある光景となりました。参加者は優勝を狙って競い合う

人、のんびり自分のペースで滑る人、給食所狙いの人、女装をする人などそれぞれの楽しみ方で滑っていました。

クロスカントリースキーは競技性ももちろんですが、単純に下りのスピード感を楽しんだり、広がる景色や澄んだ空気の匂いを感じたりといった楽しみ方もあります。今回の大会をきっかけにクロスカントリースキーの楽しみが広がり、今後の活動に繋がっていかれたらと思います。そして、これからの100年に向けてここ飯山から発信して高です。

最後に、参加者の皆さん、大会関係の皆さんお疲れさまでした。



飯山ジュニア スキー教室

飯山市クロス

カントリーコーチ

阿部 哲哉

平成23年12月24日と25日の

二日間、長峰運動公園にてジュニアスキー教室が開催されました。

当日は天候にも恵まれ快晴の中、約二百人の小学生が参加し、一生懸命汗を流していました。低学年はスキーの楽しさを、中学年は基礎技術を、高学年はワックスの塗り方からコースの滑り方までを中心に講習しました。シーズン始めという事もあり、まだ慣れていないぎこちない滑りでしたが、どの学年も楽しんでいました。

また、他校との交流もこの教室のいいところです。普段学校単位で練習している小学生も、この教室では市内の小学校が合同で行う事により新たな友達、ライバル、コーチと出会う事ができます。お互い刺激しあい、高めあっていくこともできます。そんな環境でスキーができるのもスキー教室ならではの思っています。

整備されたコース、経験豊富なコーチ。スキーを滑る上でこんなに環境が整ったところはないと思います。年々スキー人口が減少している中で、今回は沢山の人が参加してもらいました。将来この中から世界で活躍できる選手が出てくる事を期待しつつ、これからも見守っていきたいと思います。

未来のエースと ともに

卓球クラブ

石澤 誠直

しんしんと雪が降り積もる中、飯山市民体育館では、部の定例の練習に加え、冬期間限定で毎週金曜日に卓球教室を開催しています。

毎年、開催させていただいている卓球教室には、例年同様、たくさん的小・中学生が参加してくれており、今年も「指導員の数が間に合わない」と嬉しい悲鳴が寄せられています。

生徒達にとって定例の練習は学校でのクラブ・部活の補足的な役割を担い、この教室に参加することにより、新しい技術を学び、ひとまわりも、ふたまわりも大きく成長し、春から始ま



る大会や進学先などで活躍します。

大学や就職などで飯山市を離れて生活している卓球教室の卒業生も、自分が先輩たちから譲り受けてきた技術を次の世代に伝えるため、講師として参加してくれます。

講師につく各年代別のエース達は、未来のエースに借しげなく技を継承し、これを受け継いだ生徒達が県大会く全国大会へと大きな舞台で活躍してくれるのを楽しみにしながら、自分がかかわった仲間打ち負かされないよう、日々、努力をしています。

本年は記録的な大雪が降る中、大変な苦勞をして送迎してくれている父兄の方々や関係者の皆様に感謝し、さらに発展していけるよう努めていきたいと思っておりますので、今後もよろしくお願いたします。

寒稽古

弓道会

石田 真

武道やスポーツにおいて日々の研修や修練は欠かせないと思います。もちろん弓道でもそうなのですが、年末から1月末日までが大会などがない事と、積雪、寒さ、自宅の除雪、仕事の都合などにより道場に通うのが困難になる事があります。しかし弓道では昔から射即人生とか射即生活といわれてきていて、休んでばかりいると生活の一部が欠けてくるような気がしてきます。なので弓道会では、短時間でも集中して弓を引けるように、練習に来た日の最初の10射の的を記録帳に記入していくようにしています。これを寒稽古として、1月6日から2月3日まで行いました。弓道場は、道路から100メートル位奥に進んだ所にある、今年の大雪によりまさに雪に埋もれているようでした。道場までの道と射場からの場の間の除雪もままならない時もありましたが、そんな中で寒稽古の参加延べ人数が180名、皆勤者が2名となりました。4月になると射場の屋根まであった雪

もなくなり、桜の時期には北信弓道大会が開かれます(4月29日)。5月には弓道教室が始まります(5月8日から)。



剣道級試験

剣道クラブ

福沢 東

剣道の級試験が飯山市民武道館において3月3日の日に行われました。

剣道の級試験は、長野県剣道連盟の各支部毎に行われている試験です。試験官は3人の先生で、9級から1級までの試験がおこなわれます。

今回は、1時30分より受付が始まり31人の受験者が集まりました。年齢は6歳から23歳までで剣道暦もまちまちです。最初



は9級の試験からです。9級は主に昨年の春からはじめた小学1年生です。緊張の中戸惑いながらもお互いの礼をしいよいよ試験が始まります。真剣な声で切り返し(剣道の基本稽古方)を行い、そのあとお互いに稽古(お互いに打ち合い)して1次試験は終わりです。級を追う毎に発声も大きくなり、竹刀同士たたきあう音も激しくなってきました。

4級までの試験は、1次試験で可否の判定が出ます3級以上の試験者は、木刀による稽古法という基本技の形式の試験がおこなわれます。これですべての試験は終わりです。可否の発表では皆さん喜んでいました。これを励みにさらに上の級、1級を取得した者は段を目指して稽古に励んでいく事でしょう。

飯山柔道

教室紹介

柔道連盟

坪井 智史



僕は、幼い頃から飯山柔道教室で柔道を練習してきました。初めは、受け身の練習を多くの時間をかけてやります。受け身ができないと危なくてまともな練習ができません。受け身がある程度できるようになると、少しハードな練習に参加でき、いつそう楽しくなります。飯山柔道教室では、いろんな小・中学校の子どもが参加しているので、他の小・中学校の子どもと友達になれるます。そして、練習を通して丈夫な体をつくることができます。

大会では各教室の強い選手が集まり、学年が上がるに連れて試合のレベルもあがります。大会で勝つことができる、自分の実力に自信を持つことができ、また練習に励み、さらなる実力をつけたくくなります。

最近の飯山柔道教室は、練習メニューも増えて小・中学生が楽しく練習できるようになっています。僕も、高校で柔道を頑張りたいと思います。

バドミントンクラブ紹介

バドミントンクラブ

大日方俊樹

飯山市バドミントンクラブは、飯山市内外から集まるバドミントン愛好者が飯山小学校の体育館で、毎週火・金曜日の夜7時から9時まで練習をしています。

バドミントンは、ネットで二つに分けられたコートの両側にプレーヤーが位置し、シャトルをラケットで打ち合い得点を競うスポーツです。

バドミントンは誰にでも簡単にできるスポーツで室内・室外を問わず誰でも一度はラケットを握って楽しんだことがあると思います。

バドミントンの良いところは、スポーツとしてもレクリエーションとしても生活の中に取り入れやすく、多くの人に親しまれています。また老若男女問わず選手として活躍することができますし、生涯スポーツと

もなり得る素晴らしいスポーツだと思えます。

飯山市バドミントンクラブでは部員を募集しています。初心者から上級者までレベルは関係なく大歓迎です。みなさん、私たちと一緒にバドミントンをしませんか？

武道館を

管理して

武道館管理人

小川 恵一

当市に武道館がオープンしたのは平成2年4月です。当時、柔剣道を志す青少年等の武道施設を望む声に応じて、昭和63年に市教委が下準備をし、武道館建設委員会が一年間議論を重ねられ、先進地視察等を経た末に2億4500万円の総工費で城



山に威風堂々の武家屋敷風の建物が完成されました。

その陰には、土地をご寄贈くださった方や、武道発展に尽くされてきた先人の並々ならぬご努力があったことを忘れてはならないと思います。

建物の内部は一階に剣道場が一面、二階に柔道場が二面、他にシャワールーム、更衣室等が完備されており、北信随一を誇る武道館であるといえます。

現在この施設を利用して、市の社会教育認定団体の8団体（柔道2、剣道2、空手3、杖道1）が、毎週夜間定期的に稽古に励んでいます。また、市内中学校の柔剣道部の生徒達も昼間に時々稽古に来ます。

その他、毎年7月から9月にかけて、夏季合宿で都会から高校生や大学生が民泊して昼間に柔道、剣道、合気道等の稽古に汗を流しています。

このように当武道館は、子供から年配者や女性までフルに活用されており、年間利用人数も一人を超えます。

しかし、築22年ともなると建物にも少しずつ傷みが出てきています。昨年あの大地震では、天井の一部が剥げ落ちる被害を受けました。また、水周り等にも故障箇所が見られるのが不安です。今後、この武道の殿堂を皆で将来に渡り、大切に使ういかねばなりません。

武道の目的は単に勝敗を競うのではなく、「武道を通じて人間形成のために鍛錬する」ことだと言われます。そして私たち管理人の務めは、施設を利用する皆さんが気持ちよく使っていただくために、裏方として頑張っていくことです。

今後ともよろしくお願いいたします。

「飯山市ゲートボール連盟」受賞おめでとうございます

長野県体育協会より社会体育の振興に長年に渡り貢献された飯山市ゲートボール連盟に平成24年3月27日長野県知事の阿部会長より平成23年度団体の部の有功賞が授与されました。

編集後記

雪国飯山ならではの大会が数多く開催され、地元並び全国から大勢の参加者が訪れました。

春からは各種の大会、教室も予定しております。スポーツを通して爽快な汗を流しましょう。ご参加をお待ちしております。